

2024（令和6）年度 事業報告書

社会福祉法人山鳩会
あきつの園

1. 理念・方針

（1）法人理念

①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するために、お互いにメリットのある関わりを築いていく。

（2）基本方針

①個別のニーズや特性に応じて環境を整備するとともに、個々の能力を引き出し平均工賃2万円台を維持する。

②職員は、利用者、保護者とのコミュニケーションを積極的に取り、人権を守り自立の助長に繋がる支援をする。

③福祉施策や制度の動向など新しい情報を常に意識し、サービスに活かす。

④地域に向けた広報活動を積極的に行い、地域交流を図ることで、地域に開かれた事業所を目指す。

- ・利用者の特性を捉え、個別対応や環境調整を工夫するとともに、高工賃支給の維持に努めた。
- ・日常的に個別に利用者との意見交換や話し合いの場を設け、積極的にコミュニケーションをとり、支援の適正化を図った。また、定期的な保護者会や個別面談の実施により、利用者やその家族のニーズの把握に努めた。
- ・必要に応じて関係機関と連携を取り、包括的に支援をした。
- ・令和5年度に数年ぶりに再開した施設祭を今年度も子どもが楽しんでもらえるように更に工夫した形で実施し、非常に多くの方に来場していただき交流の良い機会となった。資源回収や事業所周辺の清掃を継続し、それらの活動を通じて地域の方と日常的な関わりを持つ事が出来た。

（3）中期目標（令和4年度～令和6年度）

①研修等を通じて職員の資質向上を図り、チームとして課題に取り組むことで、サービスの質の向上を図る。

②市役所、医療機関、その他関係機関と連携する体制を作り上げ、利用者支援の仕組みを再構築しながら、法人内施設での日中活動を継続する。

③安定した作業を提供し、平均工賃2万円台の維持を目指す。

④積極的な情報開示、情報発信により、透明性のあるあきつの園を目指す。

- ・日課への適応が難しい利用者などについて話し合う場面を多く持ち、自分たちのサービス提供について振り返った。
- ・利用者個々の状況に応じて、日課参加の検討をし必要に応じて法人内事業所や関係機関と連携を取り、様々な支援を行なった。
- ・自主生産販売のためのイベント等の参加の機会を増やし、売り上げ増につなげた。室内作業は既存の作業の効率化を図り、受注量増につなげた。屋外作業では、職員間の情報共有を徹底し、質の確保とリスク回避に努めた。
- ・保護者会にて日々の活動の様子や、行事その他の情報をお伝えし、事業所や法人の取り組みなどについて理解の促進を図った。配布物、掲示物などを活用し、利用者や、地域に向けて情報発信をした。

2. 施設概要

- (1) 施設種別 指定障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）
- (2) 利用定員 40名（現利用者数：42名）
- (3) 開所年月 平成24年4月（平成30年10月1日全面改修）
- (4) 施設規模
- | | |
|------|-----------------------|
| 敷地面積 | 685.07㎡ |
| 延床面積 | 518.64㎡ |
| 建物構造 | 鉄筋コンクリート造（地上2階地下0階建て） |
| 賃貸区分 | （土地）市より賃貸（建物）所有 |

3. 職員構成

- (1) 雇用契約あり

職 種	配置人数
管理者	1名
サービス管理責任者	1名
支援員（常勤職員）	4名
保育士（常勤職員）	0名
調理員（常勤職員）	0名
事務員（非常勤職員）	0名
支援員（非常勤職員）	13名
保育士（非常勤職員）	0名
調理員（非常勤職員）	0名
看護師（非常勤職員）	0名
理学療法士（非常勤職員）	0名
作業療法士（非常勤職員）	0名
合 計	19名

- (2) 嘱託

医師（2回／年）	1名
----------	----

看護師	(0回/年)	0名
理学療法士	(6～8回/年)	1名
作業療法士	(0回/月)	0名
合 計		2名

4. 利用者状況

(1) 障害程度

	1	2	3	4	未定	合計
愛の手帳	1名	16名	17名	8名	0名	42名
身体障害者手帳	5名(重複)					5名
精神保健手帳	0名					0名

※身障手帳・精神保健手帳と重複

(2) 年齢構成 (平均年齢 33.8歳)

	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合 計
男	3名	11名	7名	8名	3名	0名	32名
女	2名	3名	4名	0名	1名	0名	10名
合計	5名	14名	11名	8名	4名	0名	42名

最低年齢 男…20歳 女…19歳 最高年齢 男…58歳 女…57歳

平均年齢 男…35.3歳 女…30.3歳

(3) 担当福祉事務所

東村山市	東久留米市	足立区	入間市	清瀬市	所沢市	合 計
24名	5名	1名	2名	9名	1名	42名

(4) 障害支援区分

区分	1	2	3	4	5	6	未定	合計
人数	0名	5名	5名	13名	3名	1名	15名	42名

(5) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
退所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末数	41	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	503
延べ日数	902	966	924	966	924	924	966	924	966	966	840	924	11,192
延べ人数	845	884	855	912	819	848	905	840	880	863	779	809	10,239
出席率(定員)	96.0	96.1	97.2	99.1	93.1	96.4	98.4	95.5	95.7	93.8	97.4	91.9	95.9
出勤率(現員)	93.7	91.5	92.5	94.4	88.6	91.8	93.7	90.9	91.1	89.3	92.7	87.6	91.5

5. 日課

(1) 月～金曜日(あきつの園活動予定)

時間	内容
8:30～	登園・職員打ち合わせ

8：45～9：00	朝礼・ウォーキング or 体操
9：00～12：00	作業・ストレッチ（途中10分休憩）
12：00～13：00	昼食・昼休み・個別相談・連絡ノート記入
13：00～15：30	作業・ストレッチ・園内清掃（途中10分休憩）
15：25～15：45	送迎（徒歩）・園内清掃
15：45～	終礼・退園・職員打ち合わせ・他

（２）土曜日

8：25～	登園・職員打ち合わせ
8：40～11：15	朝礼・体操・作業・個別相談・連絡ノート記入
11：15～11：30	掃除
11：30～	昼食・終礼・退園・送迎
12：00～	職員打ち合わせ・他

※基本的に作業だが状況に応じてレクリエーション行事を行う。

6. 重点目標

（１）健康・衛生

- ①感染症予防対策として、徹底した手洗い、手指消毒と検温、施設内消毒、車両消毒、換気を行う。
日々の利用者の健康状態に気を配り、体調不良時は、保護者、医療機関等と連携し迅速に対応する。生活リズムを整え、規則正しい生活を送ることの大切さを周知する。
- ②健康診断・婦人科検診・予防接種・歯科健診を年1回、体重・体脂肪測定等を毎月行い、家庭やGHに情報を提供する。家庭環境を考慮して、歯科通院、耳鼻科通院等（実費負担）を行う。
- ③朝の体操、週1回のウォーキング、ストレッチ、運動レクリエーション等を実施し、気分転換や運動機能の維持を図る。また、個別支援計画に基づき理学療法士が計画した運動プログラムを実施する。週1回全体での実施が定着している山鳩体操など、楽しみながら健康に繋がる運動を工夫して実施する。
- ④常時服薬している方の服薬管理を徹底する。災害時用の服薬（3日分）を事業所に保管し、定期的な入れ替えを行う。
- ⑤障害の特性や高齢化などにより、日常的に健康面への配慮が必要な方に、個別対応や環境調整、体調管理や家庭連絡、手当などを行い安定して通所できるよう支援する。
- ⑥口腔衛生のための取り組みとして、利用者の歯磨きの状況を確認し、必要な利用者に、個々にブラッシング指導を実施する。自治会などで、定期的に歯磨きへの意識が高まるような情報提供などをする。
- ⑦心身ともに健康な生活を送るための様々な情報を園便りその他プリントの配布や園内の掲示などで発信する。
 - ・基本的な感染症対策を継続したうえで、社会的な感染者数の増加状況を注視し、増加傾向が見られている時にはマスク着用の促しの強化、黙食、活動の空間を分けるなどの対策をした。体調不良者発生時には、保護者と連携し迅速に対応した。
 - ・身体機能の低下が懸念される方へ個別の運動プログラムを実施した。職員間で個々の状態の共有を促進し、運動の際に適切に援助できるようにした。週に1回程度全員で山鳩体操を実施し、利用者の体力維持を図った。作業場面にて運動機会が少ない方へウォーキングなどの体を

動かす場面を提供した。

- ・昼食後の歯磨きを推奨し、口腔衛生を図った。利用者個々の状況に応じて、個別のブラッシング指導の機会を取る必要があると思われる。

嘱託医相談	内科（むらせ医院 奥平医師）	5/16・12/19
	理学療法（PT相談・指導）	5/21・7/9・8/20・9/10・11/26・12/17・2/18・3/11
健康診断	あきつの園（白十字病院健診車）	4/16
婦人科検診	白十字病院	5/14（マンモグラフィー）
内科健診（健診結果）	あきつの園（白十字病院）	5/10
歯科健診（公費）	あきつの園（折笠歯科医）	2/13
インフルエンザ予防接種	あきつの園（白十字病院）	11/11
体重・体脂肪測定	あきつの園	毎月第4週

（２）家庭・地域生活

- ①ヘルパー、短期入所の利用等、市役所・相談支援事業所等と連携し、福祉サービスの情報提供を行い、将来に向けて選択肢を広げる取り組みをする。
- ②衣類・日常生活用品の買い物、散髪等、個別のニーズに応じて実施する。
 - ・同法人せせらぎの里ショートステイや、ヘルパーを利用した外出の充実など関係機関と連携を図り将来の選択肢を広げる取り組みをした。
 - ・買い物サービスを実施し、利用者自身で商品を選ぶ楽しさや生活の充実を図る機会となった。

〈買い物サービス 実績〉

日時	参加人数	実施場所
8 / 5	5名	ファッションセンターしまむら
8 / 8	2名	ワークマン
8 / 8	7名	ユニクロ

（３）作業・係活動

- ①作業マニュアルを定期的に見直す。作業の状況を日々の打ち合わせにて職員間で共有する。常時、整理整頓を意識する。作業を効果的に進めることで、平均工賃の維持と向上を図る。
- ②契約業者とのやり取りを密にし、信頼を得る事で安定した活動場面の提供を維持する。
- ③作業種、作業内容を整理する。個別のニーズや特性に応じて、小集団での作業場面の提供など可能な限り参加作業や環境に配慮する。
- ④目標を設定し、達成感や充実感、喜びが得られるように支援する。本人の強みに着目することで潜在能力を引き出す。作業能力の向上を図るとともに、個々のやりがいなどにも着目した働きかけをする。
- ⑤係活動（清掃、洗濯、配膳等）を通じて、施設内の衛生的な環境を保ち、自立に向けて日常生活技術の獲得も目指す。さらに生活面において役立つよう個別に指導をし、集団行動の中で生活能力を身に付ける。
 - ・職員間で情報共有を図り、作業の進め方について毎日の打ち合わせなどで周知し、統一された方法のもと品質を保ち、安定した収入へ繋げた。外作業について、変更点や注意点など迅速に

職員間で共有し、品質の安定に努めた。

- ・安定した作業を行い、作業時に契約者より労いや御礼の言葉を受ける等、信頼に繋がった。来年度の契約を結び、安定した作業提供へと繋がった。
- ・個別ニーズに応じて環境調整を行ない、場面を変えての作業を実施した。職員配置を工夫し、施設全体の安全・円滑な作業実施に努めた。
- ・日々のミーティングやケース会議を通じて個々の課題を洗い出し、情報共有する事で統一された支援方法を心がけた。
- ・係活動を通じて、生活面でのスキルや衛生面への意識、集団生活への個々の役割等を見出し、利用者が主体的に行動し実施できるような場面設定を検討し、提供した。

作業・就労活動

① 事業所内活動

(単位:円)

作業名	受注・納品先	作業内容	稼働数	参加者	令和5年度収入	令和6年度収入
受 注	鈴木紙工	ショッピングバック 作成他	週5日	全員	1, 332, 130	1, 311, 084
清掃事業	東村山市・西武・武蔵野 公園・佛眼寺・宝泉寺・ 全生園草むしり・他	ゴミ拾い・落ち葉掃き・ トイレ掃除・ゴミ捨て・ 全生園敷地内・他	月20回以上	数名	6, 968, 951	6, 534, 770
木 工	国立博物館・正福寺地 蔵堂・都庁・他	木工製品の作成・販売	週5日	数名	2, 482, 088	2, 508, 477
回収事業	三栄サービス	資源回収	週5日	数名	2, 507, 904	2, 521, 668
その他事業	市内・他	ポスティング・バザー	年数回	数名	116, 380	142, 193
拠点区分間	法人内	木工製品・他	不定期	数名	15, 200	53, 800
小 計①					13, 422, 653	13, 071, 992

②パート・アルバイト

(単位:円)

	受入先	作業内容	稼働日	参加者	令和5年度収入	令和6年度収入
パート契約	白十字ホーム	施設内清掃	週3日	3名	2, 001, 749	1, 544, 905
パート契約	万寿園※R5のみ	施設内清掃	週3日	1名		
パート契約	(株)いなげや	青果・雑用	週5日	1名		
小計②					2, 001, 749	1, 544, 905
合計①+②					15, 424, 402	14, 616, 897

工賃支払実績

(単位:円)

	総額	平均額	最高額	最低額	パート・アルバイト
4月	978, 760	23, 873	55, 210	4, 730	124, 377
5月	1, 246, 290	29, 674	71, 430	4, 880	124, 458
6月	789, 690	18, 803	43, 370	4, 150	128, 191
賞与	239, 800	5, 450	8, 940	3, 070	
7月	763, 060	18, 169	40, 360	4, 000	122, 371
8月	658, 250	15, 673	35, 750	3, 710	144, 213

9月	591,220	14,077	31,140	3,000	125,483
10月	839,760	19,995	43,700	3,000	129,758
11月	1,012,960	24,119	54,700	4,180	128,950
12月	1,090,070	25,995	58,780	4,490	142,161
賞与	239,770	5,709	10,090	3,240	
1月	825,210	19,648	43,140	3,680	124,855
2月	829,480	19,750	43,200	3,970	130,780
3月	916,424	21,820	49,530	3,500	119,308
合計	11,020,744	262,755	589,340	53,600	1,544,905
平均	918,395	21,896	49,112	4,467	128,742

※パート・アルバイトについては本人へ直接支給される。

自主生産品販売活動状況

月	内 容	場 所	参加利用者数
4 月	緑の祭典	中央公園	1 名
6 月	菖蒲まつり	北山公園	1 名
10 月	白十字フリーマーケット	白十字ホーム	1 名
	社会事業大学学祭	社会事業大学	利用者参加なし
11 月	地蔵まつり	正福寺	1 名
	産業祭	市民センター周辺	1 名

(4) 就労支援

- ①個別支援計画に基づき、パート勤務を希望している方へ就労支援を行う。
- ②就労意欲の維持、向上を図り、希望される方にはハローワークや就労支援室に登録を行い、面接・実習に繋げていく。
- ③トラブル等に対応し解決策を見だし、勤務が継続出来るように巡回・連絡等を行う。
 - ・パート就労の他、就労支援室やハローワークに登録する等、就労に繋がるアプローチを実施した。
 - ・定期的な巡回を行い先方との信頼構築や利用者の情報交換により、安定したパート就労へのサポートを行なった。

(5) 昼食

- ①清潔で衛生的な環境整備を行う。
- ②日々の食事を楽しみとし、仕事をする意欲に繋がるように働きかける。
- ③ソフト食や刻み食等、利用者の健康状態や個別要望に合わせたメニューを可能な限り提供する。
- ④四季の移り変わりを感じて頂けるように、旬の食材を使った行事食や郷土料理、世界の料理やリクエストメニューを用意し、食べる楽しみを感じてもらう。
- ⑤利用者の食への関心が高まるような情報発信をする。
 - ・衛生面に配慮し、清潔な状態で食事を楽しめた。また、消毒方法についても職員間で周知徹底を行なった。
 - ・月に一度給食提供者との会議を実施し、利用者からのメニューリクエストや要望等の情報交換をし、さらなる食への安全や楽しみに繋がった。

- ・利用者の高齢化や障害特性に伴い、誤飲や声掛けの必要がある利用者に対し、職員が見守りのできる体制づくりをした。

栄養基準量（荷重平均値）

	熱量	蛋白質	炭水化物	脂肪	カルシウム	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC
計画	804kal	29.0g	127.8g	23.8g	258mg	0.47mg	0.53mg	38mg
実績	631kal	23.7g	93.3g	19.2g	103mg	0.35mg	0.29mg	34mg

（６）自治会活動

- ①朝礼、終礼等を活用しながら、利用者の意見を引き出す。
 - ②利用者自身で考え、集団の中で意見を話し合う場面を設ける。
 - ③自治会にて、集団生活を送る上での基本的なマナー・ルールや健全な生活などについて、利用者自身で考える機会を設け、自分達で解決策を見いだせる様に援助する。
- ・健康や係活動・行事、他者との関わり、について情報発信するとともに、利用者自身で考えるきっかけとなるような場面の提供をした。
 - ・朝礼や終礼で、利用者が自由に発言する場を設け、発言しやすい雰囲気づくりに努めた。
 - ・小グループにてＳＳＴの手法を活用し、上手く自分の気持ちを伝えるためにどうすれば良いか考える時間を持った。

（７）行事

年間行事予定

日付	内容	場所	目的	人数
4/1	入所式・歓迎会	あきつの園	入所利用者、職員の紹介	40名
8/9	暑気払い	あきつの園	利用者の日頃の労をねぎらう。	50名
10/9	バスハイク	神奈川方面	利用者・職員・保護者との親睦を深める	69名
10/31	ハロウィンパーティー	あきつの園	季節感のある催しを利用者・職員で楽しむ	39名
11/3	ミニ運動会 地蔵祭り	あきつの園 正福寺	法人全体行事の代替 自主生産品販売(地蔵)	32名 2名
12/25	クリスマス会	あきつの園	利用者・職員で楽しみ日頃の労をねぎらう。	41名
12/14	施設祭	あきつの園	地域との交流を図る	36名
1/14	成人を祝う会	中央公民館	法人全体行事 人生の節目として成人・還暦を祝う。勤続の周年の節目を祝う。	27名
3/19	ボウリング・納会	久米川ボウル	年度の終わりに皆で楽しみ労をねぎらう。 一年を振り返る	41名

グループ外出

月 日	場所	参加人数
5/28	柴又周辺	4名+㊦2名
6/20	羽田空港	5名+㊦2名
7/19	浅草、花やしき	6名+㊦2名

7/26	サンシャイン水族館・アニメイト（グループ1）	6名+㊦2名
9/26	サンシャイン水族館・アニメイト（グループ2）	6名+㊦2名
10/28	東京タワー	2名+㊦2名
11/18	温泉（温泉バルコニーキング&クイーン）	3名+㊦2名
11/27	お台場（フジテレビ）	6名+㊦3名
12/26	渋谷スクランブルスクエア・原宿	5名+㊦2名

- ・個別のニーズに沿って、小グループでの外出が実施でき、利用者の日常の楽しみや余暇の充実、仕事への意欲に繋がった。また、施設祭とバスハイクを地域の方や保護者も参加出来る形で再開した。

7. 防災訓練

- ①災害時の利用者の安全を図るため、防災計画に基づき、月1回の防災訓練を行う。

訓練項目	回数
園内避難訓練（火災・地震）	12回／年

- ②多機能事業所の特性を生かし、幼児室ポッポとの年数回の合同避難訓練の実施、避難場所に指定されている所へ移動訓練も行う。
- ③施設内での炊き出し訓練を実施し、防災備蓄品の確保をする。
- ④救急救命士による講習会を行なう。
- ⑤非常用の薬、処方箋、緊急連絡等の準備と管理を行う。
 - ・地震・火災の状況を想定し訓練を実施した。
 - ・法人全体での避難訓練（9/5・1/29）を実施し大災害発生時の法人としての動きを確認した。

避難誘導訓練	あきつの園	毎年実施の自衛消防訓練効果確認は中止
消防用設備点検	（株）千代田防災	2回（8月・2月）

8. 地域との交流

- ①地域の清掃活動、資源回収、行事の開催や参加等を通じて、地域住民の方々と日常的に関わりを持つ機会を作り、利用者が地域で活動しやすい関係性作りをする。
- ②地域からの古紙やアルミ缶などの提供に感謝する企画を実施し、双方にメリットのある関係性の構築を図る。
- ③事業所の作業体験、ホームページ・フェイスブック・Instagram・地域版の広報誌を活用し、事業所の活動を理解してもらう取り組みを行う。
- ④地域の自治会と協力しながら、地域活動のお手伝いや備品の貸し出しを行い、身近な地域の相談窓口としても活用してもらう体制を整える。
- ⑤地域の方やお子様が参加できる木工づくり体験などを実施する。また、定期的に木工品を地域の方に販売する機会を設ける。
 - ・年間を通じてゴミ拾いを実施し、清掃活動を通じ、地域貢献・交流の場とした。
 - ・日常的に資源回収やアルミ缶回収に協力を頂き、そのお礼としてサンクスウィークを実施し、地域と相互にメリットのある関係性の構築に努めた。
 - ・施設祭を実施し、非常に多くの方に来場して頂き、楽しんでもらえ、よい交流の場面となった。
 - ・市内のイベントに複数参加し、木工品販売を通して地域との関係づくりや事業所のPRを行なった。

9. 実習生の受け入れ（利用者・職員）

- ①地域の支援学校等より実習を受け入れ、将来の就労の場の選択肢となるように支援する。学校からのアセスメントの状況を共有し、作業環境にも配慮する。
- ②市役所、社会福祉協議会等と連携し、福祉サービスの活用に結び付かない在宅者等にも働きかけ、社会生活を送るための動機付けの機会を提供する。
- ③教員や社会福祉士を目指す学生などの実習を受け入れ、福祉の人材育成にも貢献する。
- ④中学生、小学生の体験授業の受け入れをする。
 - ・個別に配慮が必要な方の受け入れも可能な限り実施した。
 - ・学生の実習やボランティアを受け入れ、福祉の人材育成に努めた。
 - ・小学校・中学校の職場体験の受入をし、小学生には基本的な障害理解の講義と作業体験の場を提供した。

対 象	実 習 内 容	期 間	人 数
支 援 学 校 生 徒 (1 ～ 3 年 生)	施 設 の 日 中 活 動 体 験	5・6・9・11・12・1・2月	11名
専 門 学 校	保 育 実 習	11日×4名、12日×2名	6名
秋津東小学校（5学年）	職 場 体 験	2/13	40名
清瀬第4中学校（2学年）	職 場 体 験	10/30、31・11/1	2名

10. 保護者会等との連携

- ①支援の充実を図るため、家族、後見人等との情報交換を密に行う。
- ②月1回の保護者会開催と、年1回の個別面談を実施する。
- ③講座などを組み入れ保護者の方への情報提供や気分転換の場を提供する。
- ④家族で参加できる行事を行い、交流の場とする。
- ⑤あきつの園便りを月1回配布し、事業所の活動状況を把握していただく。
 - ・保護者会を実施し園での様子を伝え、保護者との意見交換や情報共有に努めた。今年度新しく取り組み始めた山鳩体操については、動画で紹介した。
 - ・講座の実施は出来なかったが、園からの情報発信はお便りを活用し行なった。
 - ・バスハイクや施設祭りを保護者も参加する形で実施した。
 - ・事業所便りにて新規入所者や職員、事業所での様子を掲載し、活動の状況を発信した。
 - ・個別面談を実施。保護者と利用者のニーズを捉え、次年度の個別支援計画に反映し、情報共有の場となった。

11. 職員研修

- ①一社会人としての知識・情報を得るため、他業種の研修や見学、交流などを行う。
- ②研修の内容について、職員間で必要な情報を共有することで、職員全体の支援力向上を図る。
- ③虐待防止を徹底し、全職員を対象に研修を行う。
 - ・研修内容
障害者虐待防止、権利擁護研修、社会福祉従事者人権研修Ⅰ・Ⅱ、サービス管理責任者更新研修・実践研修、法人内研修部会の定期的な開催（年2回）
 - ・虐待防止や苦情解決について夕方のミーティング等で話し合う機会を設け、日頃の現場の実践に

つなげられるよう努めた。

研修実績

研修名	実施日	主催	場所	参加者
第9回ダウン症支援セミナー	8/15	公益財団法人 日本ダウン症協会	あきつの園 (web 研修)	飯淵千佳子
令和6年度社会福祉事業従事者研修【Ⅰ】	8/28	東京都福祉保健局	あきつの園 (web 研修)	長平美里
令和6年度第1回東京都サービス管理責任者基礎研修及び児童発達管理責任者基礎研修	7/24～8/1 8/15・8/16	公益財団法人 総合健康推進財団	あきつの園 東京都社会福祉保健医療研修センター	塩野亜沙美
令和6年度社会福祉事業従事者研修【Ⅰ】	9/11	東京都福祉保健局	あきつの園 (web 研修)	塩野亜沙美
令和6年度サービス管理責任者更新研修	10/15	公益財団法人 総合健康推進財団	スクエア荏原	牛越拓生
令和6年度東京都サービス管理責任者実践研修及び児童発達支援管理責任者実践研修	12/12～12/16 1/27・1/28	公益財団法人 総合健康推進財団	あきつの園 (web 研修) スクエア荏原	鈴木脩太
令和6年度東京都サービス管理責任者実践研修及び児童発達支援管理責任者実践研修	12/12～12/16 1/29・1/30	公益財団法人 総合健康推進財団	あきつの園 (web 研修) スクエア荏原	五十嵐直生

12. 会議予定

種 目	回 数	内 容
職員会議	1回／月	施設内活動全般
評価会議	2回／年	利用者の生産性・工賃等の見直し等
生産活動会議	1回／月	健康・衛生・地域・家庭生活・就労等
ケース会議	1回／月	利用者一人一人の個別の会議・月に3名
厨房会議	1回／月	なごみの里・みどりの森・東京天竜との合同会議
研修報告会	随時	個別参加の研修報告
幼児室ポップ合同会議	1回／月	事業経過報告・他

※その他必要に応じて開催

13. 事業継続計画（BCP）

（1）防災

計画に沿った形で法人全体での訓練の実施、研修の実施を行う。また、定期的に会議を開催し、より実効性の高い防災対策を検討する。

- ・定期的に委員会を開催し、計画の更新を行った。
- ・安否確認システムの検討や、法人全体の合同避難訓練の実施をした。

（2）感染症

計画に基づき、連絡調整や対応手段を整理し、感染症発生時にも円滑に事業の継続または再開を

するための体制づくりをする。

- ・ 3月に新型コロナの感染が一定数あった。感染拡大防止のため、日課の短縮と閉所の対応をした。

14. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護、虐待防止、身体拘束の適正化、セクシャルハラスメント防止

(1) 苦情解決

- ①利用者からの苦情解決実施要綱に基づき、苦情に対しては真摯に受け止め迅速且つ円滑な解決方法を見出せるよう努める。
- ②担当窓口及び第三者委員を掲示し、苦情解決への仕組みを利用者・家族へ周知する。
 - ・ 誠実な対応を心掛けて、苦情の前に相談で解決した。

(2) 個人情報保護

個人情報保護規程に基づき、個人情報の取り扱いには細心の注意を払い、データの管理を適切安全に扱う。

(3) 権利擁護・虐待防止・身体拘束の適正化

- ①人権の擁護、虐待防止等に関する運営委員会、担当職員を配置し、必要な支援体制の整備を行う。
- ②身体拘束の対策を検討する委員会を定期的に開催する。
- ③職員は、虐待防止の啓発・普及、身体拘束の適正化に関する研修を受講する。
 - ・ 虐待防止や利用者の権利擁護の観点から支援を振り返り話し合う場面を持ち、日々の言動に注意を払い、職員間での声掛けや意識向上に努めた。

(4) セクシャルハラスメント防止

- 担当職員を配置し、セクシャルハラスメントの防止、対応にあたります。
- ・ 施設職員を男女1名ずつ配置し、防止・対応にあたった。

苦情解決

	氏名	連絡先
責任者	牛越 拓生	042-392-4800
担当者	鈴木 脩太	同上
第三者委員	江幡 房枝	同上

セクシャルハラスメント

	氏名	連絡先
責任者	牛越 拓生	042-392-4800
担当者（男性）	大竹 正史	同上
担当者（女性）	鈴木 ひかり	同上

虐待防止・身体拘束の適正化

	氏名	連絡先
責任者	牛越 拓生	042-392-4800
担当者	塩野 亜沙美	同上